

■ 市政戦略編の見方

**戦略1 来るべき未来社会を見据えて、すべての子ども達が夢を育み
チャレンジできる環境を創出**

小牧市の誇
見据えて、さら
応援するまち
の世代が暮らし

【まちの状態を表す指標】は、「都市ビジョン」にどの程度
近づいているのかを客観的に確認するための指標です。
基準値は原則として平成30年度実績値、それ以外の場合
は()書きで基準年度を示しています。

社会を
みんな
すべて

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
将来の夢や目標を持っている 子どもの割合	79.1%	81.6%	82.4%	78.5%	↗
安心して子育てができるまちだ と思う保護者の割合	82.6%	88.1%	85.9%	89.6%	↗

＜重点事業1-1 すべての子ども達が夢を育み挑戦できる環境の整備＞

指標名	基準値	R1	R2	R3	目標値(4年度)
コマキッズドリームプロジェクト に参加した子どもの数	6,922人	7,362人	9,647人	24,854人	10,000人

【事業の進捗状況を測定するための指標】で、事業の実施
によって直接生み出された成果を客観的に確認するための
指標です。

基準値は原則として平成30年度実績値、それ以外の場合
は()書きで基準年度を示しています。

**戦略1 来るべき未来社会を見据えて、すべての子ども達が夢を育み
チャレンジできる環境を創出**

小牧市の誇る「子育て支援が充実している」姿を一層高めるとともに、未来社会を見据えて、さらに高い地域の姿として「子どもの夢を育み、夢へのチャレンジをみんなで応援するまち」「子どもを中心にすべての世代がつながっているまち」、そして、「すべての世代が暮らしやすい、あたたかい支え合いのまち」を目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
将来の夢や目標を持っている 子どもの割合	79.1%	81.6%	82.4%	78.5%	↗
安心して子育てができるまちだ と思う保護者の割合	82.6%	88.1%	85.9%	89.6%	↗

<重点事業1-1 すべての子ども達が夢を育み挑戦できる環境の整備>

指標名	基準値	R1	R2	R3	目標値(R4年度)
コマキッズドリームプロジェクト に参加した子どもの数	6,922人	7,362人	9,647人	24,854人	10,000人

<重点事業1-2 すべての子育て家庭への支援>

指標名	基準値	R1	R2	R3	目標値(R4年度)
子育て世代包括支援センター や各児童館での相談件数	6,320件	7,061件	6,668件	7,267件	7,000件
子育てについて相談できる人 がいる保護者の割合	96.9%	96.6%	96.5%	96.2%	100%

<重点事業1-3 Society5.0を見据えた教育の推進>

指標名	基準値	R1	R2	R3	目標値(R4年度)
タブレットPCを活用した授業は わかりやすいと感じている児 童生徒の割合	—	78.9%	81.1%	83.2%	85.0%

充実

こども夢・チャレンジ推進事業



こども未来部 こども政策課

子育て世代包括支援センター

教育委員会事務局 学校教育課

1 予算額 35,097千円

2 目的及び効果 「こども夢・チャレンジNo.1都市」の実現に向けて、こどもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業を展開し、世代を越えてつながるまちづくりを進めます。

3 事業概要

○夢にチャレンジ助成金支給事業 2,073千円(こども政策課)

自分の夢を実現するための計画を募集し、チャレンジしたい内容をプレゼンしてもらい、優秀者に助成金を支給します。

【対象】 15歳以上25歳以下の高校生、大学生、社会人等及び市内在学の学生。本人もしくは、保護者が住民登録等。(市内在学の場合は住民登録がなくても可。)

【助成額】 上限30万円

自分の夢を自ら考え、その夢を発表する場を設け、将来助成金を利用してもらう契機とします。

【対象】 市内在住の中学生

【発表記念品】 図書カード1万円分 【参加記念品】 図書カード1千円分

○大学生等海外留学奨学金支給事業 4,940千円(こども政策課)

海外の大学等に、3ヶ月以上留学しようとする大学生等に奨学金を支給します。

【対象】 15歳以上25歳以下の高校生、大学生、社会人等。本人もしくは、保護者が住民登録等。

【助成額】 留学先の国・地域に応じて、12ヶ月を上限として、月額4～5万円を支給。

○ **充実** 学習支援事業「駒来塾」 4,107千円(こども政策課)

経済的理由により学習塾に通えない、家庭環境により家で学習する機会がないなど、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に、教員OBや教員を志望する大学生など地域の協力を得て、一定レベルの学力が定着できるよう学習支援を実施します。

また、小学6年生を対象に、中学校入学後すぐに入塾できるような仕組を構築します。

【対 象】 中学1・2・3年生（学習塾に通っていないこと）

【教 室】 東部地区(篠岡中・桃陵中・光ヶ丘中)

北里地区(北里中・小牧西中)

味岡地区(味岡中・岩崎中)

小牧地区(小牧中・応時中)

【開催日】 毎週木曜日 午後6時30分～8時

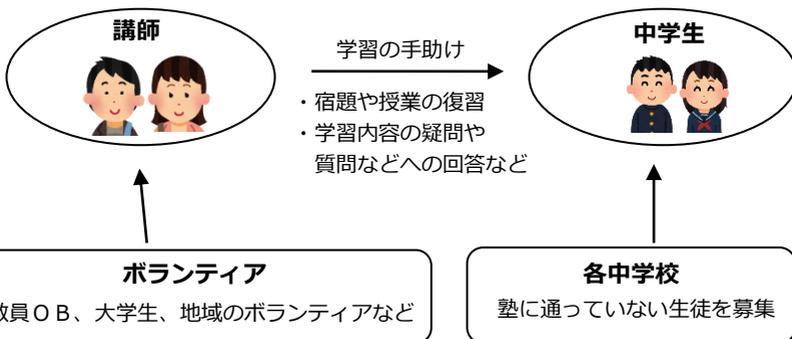
【実施場所】 東部市民センター、北里市民センター、

味岡市民センター、中部公民館

【参加費】 無料

※駒来塾のイメージ

基礎学力の定着をめざして学習支援活動を実施します。



○JFAこころのプロジェクト「夢の教室」開催事業 11,677千円(学校教育課)

JFAこころのプロジェクト「夢の教室」(日本サッカー協会)のカリキュラムにより、様々なスポーツ選手が「夢先生」となり、「夢の教室」と題した90分の授業を学校で実施します。毎年、小学校5年生を対象としますが、新型コロナウイルスの影響により令和4年度に受講できなかった小学校6年生も対象とし、子どもたちの精神的な成長を図ります。

○ひとり親家庭等支援事業 12,300千円(こども政策課、子育て世代包括支援センター)

ひとり親家庭等の子どもが大学等に進学しやすい環境をつくり、また親子の学び直しを支援することで、より良い条件での就職や転職に向けた可能性を広げ、安定した雇用につなげていきます。

ひとり親家庭等支援事業

ひとり親家庭等入学支援
金給付事業12,000千
円(こども政策課)

ひとり親家庭等の子どもが大学等に入学する際の準備に必要な費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ることで、進学しやすい環境をつくり、自立を支援します。



ひとり親家庭高等学校卒業
程度認定試験合格支援
事業

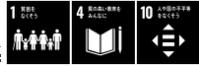
300千円(子育て世代包
括支援センター)

高校を卒業していないひとり親家庭の20歳未満の児童を対象に、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す講座受講料の一部を助成します。



充実

高校・大学等進学支援事業



福祉部 福祉総務課
教育委員会事務局 学校教育課

1 予算額 15,600千円

2 目的及び効果 進学する向上心に富みながらも、経済的に困難な状況にある学生・生徒の進学を支援します。

3 事業概要

- **新規**大学等進学応援交付金支給事業 3,600千円(福祉総務課)
親からの援助を受けることが困難な状況にありながら、大学等に進学した学生に対し応援交付金を支給します。
【対象】児童福祉施設等に入所措置されている大学生等及び進学を理由に生活保護世帯から世帯分離された大学生等
【助成額】年間12万円

- **充実**奨学金交付事業 12,000千円(学校教育課)
経済的に恵まれない生徒が高等学校等へ進学する場合に、入学準備金を支給します。
【対象】小牧市の中学校を卒業し、高等学校等へ進学する向上心に富み、経済的に恵まれない生徒
【助成額】12万円

充実

給食費負担軽減事業



教育委員会事務局 学校給食課

- 1 予算額 5,288千円
(歳入影響額 △245,623千円)
- 2 目的及び効果 多子世帯の子育てに対する経済的負担の軽減を図ることにより、子育て支援をより一層強化し、「子育てしやすいまち」として、「こども夢・チャレンジ No.1都市宣言」の達成を目指します。
- 3 事業概要 同一生計でこどもを2人以上扶養している保護者に対して、市立小中学校に通う第2子中学生・第3子以降のこどもの給食費を無償化します。
ただし、第2子中学生の給食費無償化については、2学期から行い、また、1学期は暫定的に全小中学生の給食費を半額公費負担します。

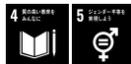


○無償化となる条件

1. 同一生計で扶養している2番目のこどもが中学生、3番目以降が小中学生であること。
2. 保護者及び対象となるこどもが小牧市に住所を有すること。
3. 対象となるこどもが市立小学校・中学校で給食の提供を受けていること。
4. 生活保護による給食費相当分の補助を受けていないこと。

充実

放課後子ども総合プラン運営事業



こども未来部 こども政策課

1 予算額 5,201千円

2 目的及び効果 全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後子ども総合プランの導入を進めます。

3 事業概要

事業年度	事業内容
令和3年度	・2小学校(小牧・光ヶ丘)においてモデル事業を実施 ・全校実施に向けた導入計画を策定
令和4年度	・6小学校(小牧・三ツ淵・味岡・篠岡・小牧原・光ヶ丘)において実施
令和5年度	・12小学校(小牧・村中・三ツ淵・味岡・篠岡・米野・一色・小牧原・本庄・陶・光ヶ丘・大城)において実施
令和6年度	・全校実施

【放課後子ども総合プラン】

共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、文部科学省と厚生労働省が協力し、一体型を中心とした児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備等を進めることとして、平成26年度に策定されたもの。



新規

ヤングケアラー支援事業



こども未来部 子育て世代包括支援センター

1 予算額 11,180千円

2 目的及び効果 ヤングケアラーは一般的に「本来大人が担うと想定されている家事や家族のお世話などを日常的に行っている子ども」とされており、子どもの将来に影響を及ぼす可能性があるため、ヤングケアラーの支援体制を構築していきます。

3 事業概要

○ セミナーの開催

関係機関職員や民生・児童委員を中心に一般市民の方まで参加できるセミナーを開催します。

○ ヤングケアラー・コーディネーターの配置

教育委員会と連携し、ヤングケアラーを早期に発見し、支援に繋げることができるよう「ヤングケアラー・コーディネーター」を配置します。

○ ヘルパーの派遣

ヤングケアラーや若年妊婦及び家事・育児に対して不安を抱えている家庭に対して、相談支援や情報提供並びに、必要に応じてヘルパー派遣を行い、包括的に支援していきます。



充実

子育て世代包括支援センター運営事業

子ども未来部 子育て世代包括支援センター



1 予算額 186,577千円

2 目的及び効果 妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない子育て支援を行う「子育て世代包括支援センター」を運営することで、一層の子育て支援を推進します。

3 事業概要(新規・充実)

新規 統括支援員(保健師)配置事業 8,251千円

母子保健と児童福祉の双方に十分な知識を有する統括支援員を配置し、子育て世代包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点の連携を強化します。



新規 ひとり親家庭等支援事業 3,790千円

キャリアコンサルタントの資格を有する就労支援相談員を配置し、ひとり親家庭の子育て・生活に関する相談から就業に関する相談までワンストップで受け付け、支援します



主な継続事業

- 母子保健型利用者支援事業 13,953千円

- 妊婦・産婦・乳児個別健康診査事業 127,125千円

- 妊娠・出産包括支援事業 5,875千円

- 産前産後ヘルパー派遣事業 720千円

- 一時預かり事業 22,023千円

- 女性相談事業委託 4,840千円



すくすく子育て応援事業



こども未来部 子育て世代包括支援センター

1 予算額 161,727千円

2 目的及び効果 すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、伴走型の相談支援と一体的に経済的支援を行います。

3 事業概要

(1) 伴走型相談支援

妊娠届出時、妊娠8ヶ月時、出生届出後において、面談等を実施し、育児の見通しの確認や利用したい子育て支援サービスの手続き等について切れ目のない相談・支援を実施します。

(2) 経済的支援(国の出産・子育て応援給付金)

① たまごギフト(出産応援ギフト)

妊婦1人につき5万円相当



② ひよこギフト(子育て応援ギフト)

子ども1人につき5万円相当



こまきこども未来館運営事業



こども未来部 多世代交流プラザ

1 予算額 143,659千円

2 目的及び効果

「こども夢・チャレンジNo.1都市宣言」の理念を実現する施設として、「未来リテラシーを育む」というコンセプトのもと、こどもたちにこれからの未来を力強く生き抜く力を育てる豊かな「学び」を提供し、小牧のこどもたちやまちの「成長のシンボル」として、いつまでも愛される施設を目指して運営します。また、こまきこども未来館を拠点とした、「こまきこども未来大学」を実施します。

3 主な事業概要

(1)こども未来館講座開催委託

地域のサポーターや企業、大学などと協力し、体験ひろばにおいて、遊びや体験を通じてこどもたち自身の学びにつなげられる講座を開催するとともに、ものづくりに携わる人材を育成する「少年少女発明クラブ」を実施します。

(2)こまき巡回バス運賃負担

市内全域のこどもたちが気軽にこまきこども未来館に来館できるよう、こまき巡回バス「こまぐる」を利用した際の18歳以下のこどもの運賃を市が負担します。



新規

保育料無償化拡充事業



こども未来部 幼児教育・保育課

1 予算額 60,183千円
(歳入影響額 △137,945千円)

2 目的及び効果 人口減少及び少子化が進展している状況の中、物価高騰などの影響により、負担が増加している子育て世代の負担軽減、より手厚い子育て支援を行うため、保育園等を利用する児童の保育料の無償化を拡充します。

これにより、「子育てしやすいまち」、「子育て支援が充実しているまち」を市民に実感していただき、いつまでも「住みたい」、「住み続けたい」と思えるまちづくりの実現を推進します。

3 事業概要

令和元年10月より無償化の対象となっている3歳児から5歳児に加え、市独自の少子化対策の拡充として、市内の保育園(21園)、認定こども園(2園)、小規模保育事業所(17園)に通う、0歳児から2歳児までの園児の保護者負担金(保育料)を所得、児童の出生順位に関わらず、無償とします。

県下初！
全園児の保育料無償化



(仮称)第一こども園施設建設事業



こども未来部 幼児教育・保育課

1 事業年度 令和4年度～令和8年度

2 予算額 47,551千円

3 目的及び効果

第一幼稚園の建物は昭和49年度に建築し、園舎の老朽化が進んでいることや園児数の減少などの課題があります。近隣の大山保育園においても園舎の老朽化、保育室不足や送迎用の駐車場が十分に確保できないなど立地条件の問題が浮き彫りとなっています。

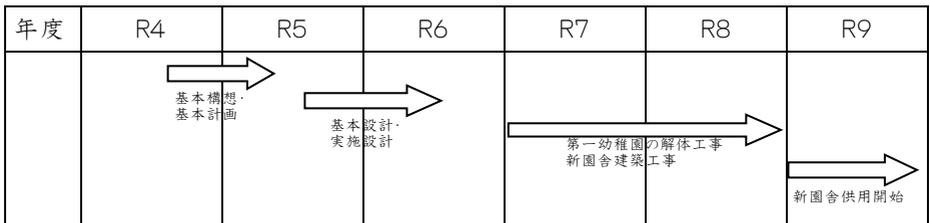
両園が抱える課題を解決し、引き続き安全安心な幼児教育・保育を行うため、第一幼稚園と大山保育園を統合した、公立の認定こども園の整備を推進します。



現在の第一幼稚園

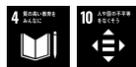
4 事業概要

令和5年度は、(仮称)第一こども園施設建設のために必要な基本構想・基本計画の策定を進め、その後基本設計業務等を行います。



建設スケジュール

保育園等公私格差是正事業



こども未来部 幼児教育・保育課

1 予 算 額 32,907千円

2 目的及び効果 保育士不足の解消及び私立職員のモチベーション向上を図るとともに、安全安心で快適な保育サービスを提供するため、保育士の処遇改善(人件費)を目的とした新たな補助制度を創設します。

3 事業概要

市内の私立保育園(7園)、認定こども園(2園)、小規模保育事業所(16施設)に対し、職員の待遇面における公私格差を是正するための補助を実施します。



保育園等職場環境向上事業



こども未来部 幼児教育・保育課

1 予算額 9,332千円

2 目的及び効果

保育現場における業務負担軽減とICTの活用を推進するため、公立保育園、第一幼稚園にWi-Fi環境を整備し、各園にタブレット端末などのCT機器を配備するとともに、公立保育園において保育支援システム「CoDMON(コドモン)」を導入します。

3 事業概要

各園にタブレット端末を3台から5台程度、各クラスに小型のモバイル端末を1台配備し、ICTの活用を推進します。

オンライン会議への参加やオンデマンド研修の受講、保育室や園庭での日常的な子どもたちの姿を写真等で記録し、情報発信に活用するとともに、研修・研究に活用し保育の質の向上に繋がります。

また、保育支援システムを導入することで、保育業務等の負担軽減を図るとともに、保護者の連絡機能などを活用し、保護者の利便性の向上を図ります。

【保育支援システムの導入で便利になること】

- ・お知らせ一斉配信機能により、園からの緊急連絡やお便りをいち早く受け取ることが可能となる。
- ・遅刻・欠席・お迎え連絡機能により、朝の隙間時間などに保護者アプリを使って連絡できる。
- ・登降園管理機能により、お子さんの登降園状況を保護者、保育士双方で確認でき、より安心してお子さんを預けることが可能となる。



戦略2 “健康・生きがいづくり”と“支え合いの地域づくり”の循環により、自分らしくいきいきと安心して暮らすことができる「活力ある高齢社会(小牧モデル)」を構築

すべての市民が健康で生きがいのある人生を生きつつ、市民同士が地域で互いに支え合い助け合う、「健康」と「支え合い」が循環するまちを目指します。

スポーツや生涯学習(社会教育)の充実を通じて、健康・生きがいづくりを支援するとともに、個人の学びを地域に還元し地域を支える担い手を育成し、市民活動・地域活動の充実を図ります。

そして、市民と行政などの協働による地域単位での防災訓練や防犯対策の充実などを通じて、災害に強く、犯罪の起こりにくい安全な地域づくりを進めるとともに、こまき巡回バスを含む高齢者の外出支援や見守りの充実に取り組みます。

さらに、医療・介護・福祉などの体制や連携の充実を図り、健康維持・介護予防活動などを強化し、地域における支え合い活動の充実とともに、年をとっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
生きがいを持って暮らしている65歳以上の市民の割合	82.9% (平成29年度)	76.6%	77.8%	79.5%	↗
地域に貢献する活動をしている市民の割合	22.7% (令和元年度)	—	19.3%	18.5%	↗

〈重点事業2-1 (仮称)健康・支え合い循環都市宣言〉

【事業の進捗状況を測定するための指標は設定しません。】

＜重点事業2-2 市民の健康寿命の延伸＞

指標名	基準値	R1	R2	R3	目標値(R4年度)
週1回以上適度な運動をしている成人市民の割合	46.1%	52.2%	53.1%	53.6%	65.0%
フレイル予防事業への参加者数	1,500人	1,795人	1,426人	2,555人	3,700人
日頃から口腔ケアをしている市民の割合	62.6% (令和元年度)	—	61.4%	63.7%	65.0%

＜重点事業2-3 生涯学習を通じた生きがいづくりと人材育成＞

指標名	基準値	R1	R2	R3	目標値(R4年度)
生涯学習に関する講座の受講者数	7,970人 (令和元年度)	—	1,737人	4,209人	10,000人
こまき市民交流テラスが関わった活動への参加者数	323人 (令和2年度)	—	—	1,559人	600人

＜重点事業2-4 地域協議会を通じた地域活動の活性化＞

指標名	基準値	R1	R2	R3	目標値(R4年度)
地域協議会が設立された数	8組織	11組織	13組織	13組織	16組織
福祉分野の活動をしている地域協議会の数	2組織	4組織	5組織	7組織	16組織

＜重点事業2-5 健康・支え合い活動の充実と地域内循環の促進＞

指標名	基準値	R1	R2	R3	目標値(R4年度)
健康いきいきポイント還元者数	1,088人	1,478人	2,198人	2,553人	2,000人
支え合いいきいきポイント還元者数	849人	1,008人	774人	833人	2,000人
市内でプレミアム商品券が使える店舗数	569店	558店	611店	612店	現状維持

充実

口腔がん検診事業



健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予算額 1,397千円

2 目的及び効果 口腔がんは、口腔内の粘膜にできる癌であり、比較的進行が早いのが特徴です。



病状によっては、舌や下顎の切除が必要になる場合もあり、食事や発声に影響を与えるなどQOLの低下につながることから、早期発見・早期治療につなげることができるよう、小牧市歯科医師会と連携し、検診事業を実施します。

3 事業概要

小牧市歯科医師会と連携し、集団による口腔がん検診を実施します。この実施にあたっては、昨年度より実施回数を拡充し、問診、視診に加え、蛍光観察装置を用いた検診を行い、口腔がんの早期発見に努めます。

【対象者】50歳以上の市民

【実施回数】年3回

【実施場所】保健センター

【実施手順】

- (1) 広報、市ホームページ、チラシ等で周知
- (2) 申込受付
- (3) 案内通知送付
- (4) 口腔がん検診実施



新規

帯状疱疹予防接種費用助成事業



健康生きがい支え合い推進部 保健センター

- 1 予算額 29,148千円
- 2 目的及び効果 心身のストレスや加齢に伴う免疫力の低下が誘因になり、帯状疱疹を発症する人が増加していることから、発症を予防するために予防接種の費用を助成することにより、経済的負担を軽減し健康の保持と増進を図ります。

3 事業概要

【対象者】

50歳以上の市民の方で、市内の予防接種実施医療機関でワクチン接種をした場合

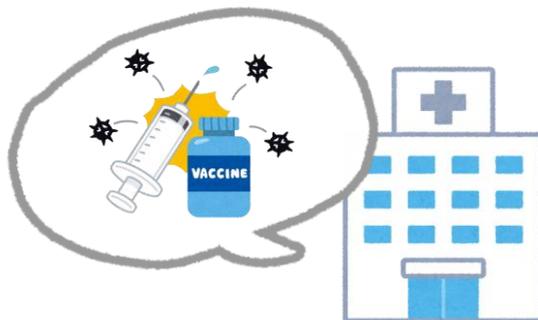
【助成額】

シングリックス:1人1セット(2回接種)

1回接種につき接種費用の半額程度で上限1万円

ビケン:1人1回接種で、接種費用の半額程度で上限3千円

※帯状疱疹とは、水痘・帯状疱疹ウイルスによって皮膚の痛みなどが起こる病気です。



充実

骨髄提供者等助成事業



健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予算額 820千円

2 目的及び効果 公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄又は末梢血幹細胞を提供した者等に対して助成金を交付することにより、骨髄提供者等の負担の軽減を図り、骨髄等の移植の推進及び骨髄バンクへのドナー登録者数の増加を図ります。

3 事業概要 令和5年度から、骨髄又は末梢血幹細胞を提供した者に、更なる市独自の助成事業として助成金を上乗せします。

【対象者：助成金の額】

- ① 骨髄提供者：通院又は入院1日につき2万円
さらに、20万円助成
- ② 事業所：通院又は入院1日につき1万円



骨髄提供者等助成事業
ホームページ

新規

地域活動再開支援事業

- 1 事業年度 令和5年度
- 2 予算額 19,600千円

市民生活部 自治会支援室
 福祉部 福祉総務課
 地域包括ケア推進課(※)
 (※R5.4.1～ 支え合い協働推進課)

- 3 目的及び効果 コロナ禍において、中止や延期となった地域の行事やイベントなどの事業が廃れてしまうことを防ぎ、地域活動の再開や継続するきっかけをつくることで、地域の活性化につなげます。

4 事業概要

○自治会活動再開支援交付事業 12,000千円(自治会支援室)

区等が実施する行事やイベント等の中止していた事業の再開に対して、交付します。

【補助額】対象経費の10/10(上限20万円)

○ふれあい・いきいきサロン活性化事業 1,600千円(福祉総務課)

地域住民がボランティアと協働して実施している「ふれあい・いきいきサロン事業」を支援している社会福祉協議会に対して補助を行います。

○老人クラブ活性化事業 6,000千円(地域包括ケア推進課)

単位老人クラブの活動費として、交流会、課外活動等に対して補助金を交付します。

【補助額】会員1人当たり1,500円

市民会館・市公民館施設整備事業



健康生きがい推進部 文化・スポーツ課

- 1 事業年度 令和4年度～令和6年度
- 2 予算額 865,839千円
(継続費[令和5・6年度]1,731,678千円)
- 3 目的及び効果 市民会館・市公民館は昭和46年に建設され、老朽化が進んでいるため、施設を安全・安心、また、快適に利用していただけるよう、長寿命化計画に基づき施設設備等の大規模改修を行います。

4 事業概要

(1)市公民館施設整備事業

文化活動や学びの拠点である市公民館の講堂及び展示場等について、展示機能の充実など多様なニーズに対応できるよう、改修・更新工事を行います。

(2)市民会館施設整備事業

空調機改修工事、トイレ等改修工事、正面玄関建具改修工事、ホール舞台機構設備改修工事、非常用ディーゼル自家発電設備更新工事、操作・制御・非常照明用直流電源装置更新工事、受電設備更新工事、ホール空調機改修工事を行います。

- ※令和4年度 設計委託
令和5～6年度 工事、監理委託
(工事期間:令和5年11月頃から
1年程度(予定))



健康いきいきポイント推進事業



健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課

1 予算額 7,079千円

2 目的及び効果 市民がいつまでも健康で暮らし続けることができるよう、健康づくりの習慣と関心を高め、楽しく継続できる環境づくりを推進することにより、健康寿命の延伸を目指します。

3 事業概要

(1) 健康いきいきポイント(対象:中学生以上の市民)

日常的な健康づくりの取組や検診、健康に関する講座等に参加することでポイントを付与し、一人ひとりの健康づくりを促進します。

(2) 子ども版健康いきいきポイント(対象:小学生)

家族と一緒に取り組んだ健康づくりの基本である「食・睡眠・運動・歯みがき」等に関連する取組に対しポイントを付与し、家族ぐるみの健康づくりを促進します。

(3) スマートフォン用ウォーキングアプリalko

誰でも気軽に取り組めるウォーキングを推進し、継続した運動習慣の確立を促進するため、スマートフォン用ウォーキングアプリ「alko」により様々なチャレンジ企画を実施します。

各種チャレンジの実践により獲得したポイントは、抽選で“市内限定商品券”に交換できます。



支え合いいきいきポイント推進事業



健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課
福祉部 介護保険課

- 1 予算額 2,084千円(一般会計)
3,391千円(介護保険事業特別会計)
- 2 目的 介護施設やサロン等でのお手伝い、高齢者のちょっとした困りごと支援などを通じ、地域での支え合い・助け合い活動の促進や、高齢者の介護への理解を深めます。
また、活動に応じて、市内限定商品券と交換できるポイントを付与することで、活動に参加するきっかけづくりや、活動を続けていく励みになります。

3 事業概要

■介護施設ポイント

内容	市が指定する介護施設等での補助的なお手伝い(イベント、清掃など)をした場合にポイントを付与
対象者	18歳以上の市民
特徴	65歳以上の方は、介護保険料の一部をポイントで還元し、実質的に介護保険料負担を軽減
ねらい	介護への理解を深めるとともに、やりがいを感じながら、健康づくりを促進



▲グループホーム安心樹「脳トレの補助」

■サロンポイント

内 容	サロン等の運営(参加者の受付、準備、片付け)に協力した場合にポイントを付与
対象者	18歳以上の市民
特 徴	65歳以上の方は、介護保険料の一部をポイントで還元し、実質的に介護保険料負担を軽減
ねらい	サロン等の運営の協力者を募る仕組みをつくり、サロン活動を活性化



▲ワンツ-いきいきサロン「こまき山体操」

■地域ポイント

内 容	日常生活におけるちょっとした困りごと(庭の草取り、電球交換等)を支援した場合にポイントを付与 ※対象:地域協議会設立小学校区
対象者	18歳以上の市民(地域協議会が設立されている小学校区の区域内に在住)
特 徴	65歳以上の方は、介護保険料の一部をポイントで還元し、実質的に介護保険料負担を軽減
ねらい	地域協議会の協力者を募る仕組みをつくり、地域の支え合い活動を支援



▲大城おたすけ隊「除草作業」

地域協議会設立推進・活動支援事業



健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課

1 予 算 額 35,000千円

2 目 的 近年の都市化の進展やライフスタイル、価値観の多様化などを要因とする地域の“絆力”の低下や少子高齢化の進行に伴う様々な地域課題に対して、区(自治会)やその他の地域団体、地域住民の方々が連携協力し、地域づくりを補完する小学校区の新しいコミュニティ組織として「地域協議会」を創設し、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指します。

3 効 果

- ◆意識高揚 ～誇りと愛着のある地域づくり～
- ◆相互補完 ～相乗効果を生み出す地域づくり～
- ◆課題解決 ～自ら取り組む特性を活かした地域づくり～

4 事業概要

- 地域協議会への財政支援及び人的支援
地域助け合い交付金、市職員による地域パートナー制度など
- 設立に向けた機運の醸成、地域への働きかけ
講演会や勉強会、説明会等の開催など
- 必要に応じた制度の見直し
地域協議会推進市民会議の開催など

地域協議会の設立状況

	小学校区名	設立年月日(認定年月日)
1	陶	平成26年3月2日 (令和2年4月1日)
2	篠岡	平成27年4月5日 (令和2年4月1日)
3	小牧原	平成28年4月24日 (令和2年4月1日)
4	大城	平成29年6月25日 (令和2年4月1日)
5	本庄	平成30年2月25日 (令和2年4月1日)
6	味岡	平成30年3月24日 (令和2年4月1日)
7	光ヶ丘	平成30年11月10日 (令和2年4月1日)
8	小木	平成30年11月25日 (令和2年4月1日)
9	桃ヶ丘	令和元年6月23日 (令和2年4月1日)
10	小牧	令和元年10月26日 (令和2年4月1日)
11	北里	令和元年12月7日 (令和2年4月1日)
12	三ツ淵	昭和54年12月23日 (令和2年5月25日)
13	一色	令和2年6月1日 (令和2年6月5日)

地域協議会の主な活動内容

■課題解決事業

防災訓練、高齢者の生活支援活動、通学路の見守り活動等の地域の課題解決に向けて取り組む事業

■交流促進事業

まつり、運動会、コンサート等の地域住民の交流を深めるために学区で取り組む事業



▲一人暮らし高齢者への花苗配布(北里) ▲ミュージックフェスティバル(光ヶ丘)

戦略3 「住みたい」「働きたい」「訪れたい」魅力あふれる小牧を創造

持続可能な都市運営とすべての世代にとって快適な生活環境を実現するため、地域振興のバランスを図りつつ、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えに基づいたまちづくりを進めます。

まちの核としての中心市街地の目指すべき将来像や取組みの方向性を示す「ランドデザイン」を描き、中心市街地の魅力とにぎわいを創出するとともに、新たな魅力を備えた暮らしたくなる東部のまちづくりを目指し、「東部振興構想」を策定します。あわせて西部地区についても、道路整備や渋滞緩和などに取り組みます。

また、小牧市の強みであるバランスの良い産業集積を持続的に高め、企業の新事業展開や生産性の向上を支援し、将来にわたって経済・雇用・財政の基盤が確立された活力あるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
小牧市に愛着や誇りを感じている市民の割合	74.9%	80.3%	81.2%	79.9%	↗
名鉄小牧線沿線居住人口	88,704人	89,095人	89,254人	88,907人	↗

<重点事業3-1 中心市街地の魅力とにぎわい創出>

指標名	基準値	R1	R2	R3	目標値(R4年度)
中心市街地の来訪者数	—	—	3.2万人	85.8万人	75万人

<重点事業3-2 東部地区の振興>

【事業の進捗状況を測定するための指標は設定しません。】

<重点事業3-3 将来を見据えた市内産業力の強化>

指標名	基準値	R1	R2	R3	目標値(R4年度)
こまき新産業振興センターの支援活動を契機に生産性を向上させた企業数	—	3件	6件	8件	20件
生産拠点などの新增設件数	—	5件	11件	12件	10件

＜重点事業3-4 プレミアム商品券による商業振興＞

指標名	基準値	R1	R2	R3	目標値(R4年度)
市内でプレミアム商品券が使える店舗数	569店	558店	611店	612店	現状維持

＜重点事業3-5 小牧市の食や名産品の普及・開発＞

指標名	基準値	R1	R2	R3	目標値(R4年度)
食・名産品の開発件数	0件	0件	0件	0件	3件

史跡小牧山整備事業



教育委員会事務局 小牧山課

1 予算額 196,915千円

2 目的及び効果

小牧市のシンボルである史跡小牧山の発掘調査によって得られた成果をもとに、歴史と自然を調和させた史跡整備を進めることによって、小牧山が市民の誇りと愛着を持てる場となるとともに、市民や市外からの来訪者に対して史跡小牧山の歴史的価値や魅力をよりわかりやすく伝えることができます。

3 事業概要

史跡小牧山主郭地区(山頂の歴史館周辺)の追加調査を行い、整備のための資料とするとともに、歴史館の南側で、織田信長が築いた石垣や大手道等を復元する史跡整備工事を行います。

また、自力で山頂に登頂することが困難な方にも、整備で復元した石垣や展示改装を行った小牧山歴史館をご覧いただけるよう、小牧山の南麓から山頂までワゴン車による送迎を行います(月2回程度)。



令和3年度に実施した整備で復元した石垣(歴史館北側)

充実

中央図書館運営事業



教育委員会 図書館

1 予算額 230,000千円

2 事業概要

■開館時間 午前9時から午後9時まで

(1階のカフェを含むエントランス部は、午前8時から開館)

■蔵書(令和4年12月現在)

図書、視聴覚資料計 約28.3万点

電子書籍約1,200点、雑誌約300誌、新聞13紙を提供

市民要望を基に図書等の購入を実施

■令和5年度拡充内容

(1) 図書購入点数の拡充

図書・視聴覚資料 約7,200点購入予定(前年度比1,500点増)

(2) 検索対象資料の拡充

・神明社より寄贈を受けた貴重な資料を図書館システムへ登録し、図書館の蔵書資料とする。

・現在所蔵している洋書図書に邦題や著者のカナなどを追加登録し、日本語検索を可能とし、利用者の利便性向上を図る。

(3) 郷土資料のデジタル化

郷土資料「象山文庫」の中から特に価値の高い資料約30点のデジタル化を実施する。



都市ブランド戦略推進事業



地域活性化営業部 シティプロモーション課

1 予算額 5,202千円

2 目的及び効果 ブランドコンセプト「夢・チャレンジ 始まりの地 小牧」を普及・浸透させ、市民の継続居住意向と愛着・誇りを高めていきます。

3 事業概要 これまでに制作したブランドムービーやブランドポスター等の広告媒体を使用し、様々な広告ツールを活用した効果的な情報発信を行い、都市ブランド戦略を推進していきます。



ブランドムービー



ブランドブック



ブランドポスター

充実 大河ドラマを活用した観光推進施策関連事業



地域活性化営業部 シティプロモーション課

- 1 事業年度 令和4年度～令和5年度
- 2 予算額 28,898千円
- 3 目的及び効果 大河ドラマ「どうする家康」を契機とし、小牧山と徳川家との関わりや、家康が「小牧・長久手の戦い」の際に築いた遺構などを発信することにより、小牧山の魅力向上と、本市への来訪者の増加を図ります。

4 事業概要

(1)大河ドラマを活用した観光推進施策関連委託料

- ・のぼり・ペナントの設置
- ・大河ドラマに関連したイベントの開催
- ・小牧山城紹介動画の作成・発信

大河ドラマを活用した観光施策として、令和4年度に引き続き小牧山内及びシンボルロードにのぼりとペナントを設置します。また、大河ドラマに関連したイベントの開催や小牧山城の歴史的価値や見どころをわかりやすく紹介する動画を作成し、YouTubeなどで発信します。

(2)小牧市観光協会事業費補助金(大河ドラマ関連事業分)

- ・出向宣伝事業拡充・小牧山散策アプリ制作・広域スタンプラリー実施・電車広告・バスラッピング・デジタルサイネージ・歴史館土産品販売・家康プラン宿泊補助



小牧山城武将キャラクター「小牧山城天下とり隊」



充実

企業立地推進事業



地域活性化営業部 企業立地・次世代産業推進課

1 予算額 215,403千円

2 目的及び効果 企業立地の推進を図ることにより、地域経済をより豊かにし、雇用力を高め、地域の活性化を図るとともに、財源の確保につなげ、より安定した財政基盤を確立することで、産業都市「小牧」の力を持続的に高めます。

3 事業概要

○ 小牧市企業立地促進補助事業 150,907千円

市内に一定規模以上の工場等を立地する企業に対し、優遇制度として補助金を交付します。

	工場等新增設事業	既存工場等入居事業
補助金の額	新設又は増設をした工場等に係る固定資産評価額に8%（市外からの新規企業又は市内に工場等を20年以上有している企業は12%（いずれか1回に限る。））を乗じて得た額以内	工場等に入居をするに伴い新たに取得した構築物、機械及び装置に係る償却資産の固定資産評価額に8%（市外からの新規企業又は市内に工場等を20年以上有している企業は12%（いずれか1回に限る。））を乗じて得た額以内
最高限度額	1億5,000万円	1,500万円

※住工混在移転、航空宇宙関連産業立地又は次世代産業立地のいずれかに該当する場合は、補助率を2%上乘せします。

○ **充実** 小牧市内企業再投資促進補助事業 54,275千円

愛知県の補助制度と連携し、市内に立地する企業の再投資を支援します。なお、令和5年度より補助対象を拡大し、10年以上(現行20年以上)市内に立地する企業を補助対象とします。

補助対象	10年以上(現行20年以上)市内に立地する工場等を有する企業で、工場、研究所の新增設等を行う企業
対象経費	固定資産取得費用(土地を除く。)
補助率	10%以内(県支援分は5%以内)
限度額	10億円(県支援分では5億円)

○ 小牧市中小企業環境保全対策設備等導入補助事業 10,000千円

周辺住民への配慮のため、工場等の騒音、振動及び臭気を防止する設備等の新規導入又は改修等を実施する市内中小企業に対し、補助金を交付します。

補助対象	市内に立地する製造業などの中小企業
対象経費	設備等の新規導入又は改修等に係る費用
補助率	50%以内
限度額	500万円



その他の支援制度 **令和5年度当初予算に計上のないもの**

● **充実** 小牧市高度先端産業立地促進補助事業

愛知県の補助制度と連携し、高度先端産業に係る工場の新増設等を行う中小企業を支援します。なお、令和5年度より補助率の引上げを行います。

● 小牧市企業立地インフラ整備支援補助事業

小牧市企業立地促進補助事業等の対象となる工場等の新設又は増設に伴うインフラ(道路・水路・水道施設)整備に対し、補助金を交付します。

充実

次世代産業推進事業



地域活性化営業部 企業立地・次世代産業推進課

1 予算額 23,071千円

2 目的及び効果 社会経済環境が大きく変化する中、次世代を担う産業の成長が求められていることから、新たな成長産業を呼び込む・育むとともに、次世代産業に取り組む企業を支援し、次世代産業の推進を図ります。

3 事業概要

○ 中小企業次世代産業設備等導入補助金 16,000千円

次世代産業分野における製品の開発、生産等を行うため新たな設備を導入する市内中小企業に対し、補助金を交付します。

対象経費	次世代産業分野における製品の開発、生産等を行うための設備等(1設備当たり1,000万円以上のもの)
補助率	1/10以内
限度額	1,000万円



○ 航空機部品製造認証取得支援補助金 1,500千円

航空機固有の認証(JISQ9100認証又はNadcap認証)を取得する事業者に対し、補助金を交付します。

対象経費	申請料、審査料、認証料等の認証の取得費用
補助率	1/2以内
限度額	1認証当たり150万円

○ **次世代産業インターンシップ受入助成金** 480千円

市内に製造拠点等を有する次世代産業関連企業のインターンシップの受入れに要した費用の一部を助成します。

助成金の額	受け入れた学生1人につき 1日当たり8,000円
限度額	96,000円



○ **充実** **次世代産業販路開拓支援補助金** 2,500千円

現行の航空宇宙産業販路開拓支援補助金の補助対象の拡大及び名称の変更を行い、次世代産業の販路開拓のため展示会等に出展する市内事業者に対し、補助金を交付します。

対象経費	展示会等の小間料
補助率	2/3以内
限度額	100万円



○ **新規** **次世代産業人材育成研修費補助金** 2,500千円

次世代産業人材の育成を図るため、従業員等が次世代産業関連分野に関する業務に必要な知識、技術、技能等を習得するための研修等を受講した市内事業者に対し、補助金を交付します。

対象経費	研修等の受講料
補助率	2/3以内
限度額	1回の研修等につき1人当たり10万円 1事業者当たり25万円



【次世代産業の一例】

- (1) 次世代自動車関連分野
- (2) 航空宇宙関連分野
- (3) 環境・新エネルギー関連分野
- (4) 健康長寿関連分野
- (5) 情報通信関連分野
- (6) ロボット関連分野

など

充実

企業新展開支援プログラム推進事業

地域活性化営業部 商工振興課



1 事業年度 令和5年度～令和7年度

2 予算額 88,472千円

3 目的及び効果

新型コロナウイルス感染症の影響、AIやIoT等のデジタル技術の浸透、SDGsやカーボンニュートラルなど大きく変化する社会経済環境に対応するため、改定した小牧市企業新展開支援プログラム(※)に基づき、補助制度の見直しや新たな制度創設を行い、アフターコロナを見据えた産業振興施策を推進します。

(※ 令和5年3月末改定予定)

4 事業概要 **新規内容**

(1)事業承継相談窓口の設置(令和5年1月～)

愛知県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、市役所内で定期的に無料の事業承継相談窓口を開設し、事業承継に関する課題解決の促進を図ります。



(2)デジタル化支援補助金

社内の生産性向上に向けたデジタル技術の導入・活用にかかる費用に対する補助を行うことにより、事業のデジタル化・DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組の促進を図ります。

【補助額】対象経費の1/2 (上限300万円)

(3)ウェブサイト・ECサイト導入支援補助金

自社ECサイト導入及びホームページの開設・改修にかかる費用に対する補助を行い、情報発信や販路開拓の促進を図ります。

① ホームページの開設・改修

【補助額】対象経費の1/2(上限15万円)

② 自社ECサイト導入

【補助額】対象経費の1/2(上限30万円)



(4)人材確保支援補助金

求職マッチングサイトの登録料や、合同説明会への参加料に対する補助制度を創設し、市内中小企業、小規模事業者の人材確保の促進を図ります。

① 求職マッチングサイトの登録料

【補助額】対象経費の1/2(上限10万円)

② 合同企業説明会の参加料

【補助額】対象経費の1/2(上限20万円)



(5)副業・兼業人材活用支援補助金

中小企業や小規模事業所に対して副業・兼業マッチングプラットフォームの利用に要した費用に対する補助を行うことにより、人材不足の解消や新たな事業に対する取組を支援します。

【補助額】対象経費の1/2 (上限10万円)



●上記内容や前プログラムから継続して実施する様々な補助制度や取組により、市内事業者に対する支援を展開していきます。

こまきプレミアム商品券発行助成事業



地域活性化営業部 商工振興課

1 予 算 額 263,000千円

2 目的及び効果 小牧商工会議所と連携して実施している「地域限定商品券事業」に対して補助を行い、市民生活を支援するとともに、地域の身近な店舗である市内の商業者を支援して、地域経済の活性化を図ります。

3 事業概要 平成23年度から小牧商工会議所と連携して実施している「地域限定商品券事業」について、令和5年度は、新型コロナウイルスの影響からの回復を支援及び燃料価格や物価の高騰対策のため、プレミアム率を20%として、総額14億4,000万円分のプレミアム商品券を発行して一定の規模で継続します。

(参考:令和4年度商品券)

え～なも券



小牧山城石垣

い～なも券



名古屋コーチンPRキャラクター こまちん

充実

中心市街地活性化事業

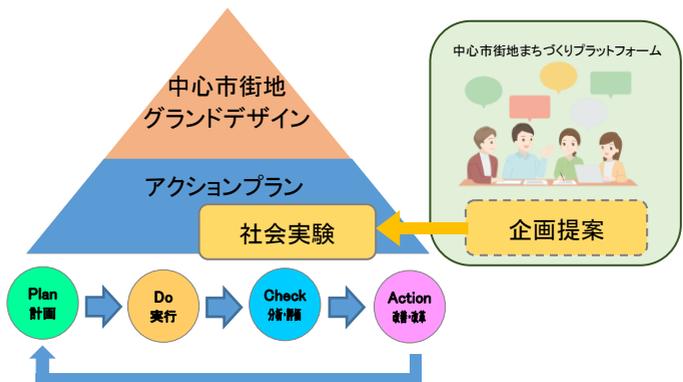


都市政策部 都市整備課

1 予算額 4,244千円

2 目的及び効果 「小牧市中心市街地グランドデザイン」に基づき、将来にわたって魅力と活力の続く中心市街地としていくため、当面の取組をまとめた「小牧市中心市街地グランドデザインアクションプラン」に位置付けられた各種事業を進め、まちの将来像の実現を目指します。

3 事業概要 令和5年度は、住民や商店、関係団体等がつながる場である「中心市街地まちづくりプラットフォーム」において、ワークショップやLINEのオープンチャットにより提案されたまちづくりの企画を社会実験として実施するとともに、各種事業を進め、その効果検証・改善を行います。
【プラットフォーム登録数】98名（令和5年1月末現在）



充実

東部まちづくり推進事業



都市政策部 東部まちづくり推進室

1 予算額 6,364千円

2 目的及び効果 東部振興構想の実現に向け、住民をはじめ、東部地域に関係する人たちと、まちの課題やまちづくりの方向性を共有し、夢や希望をもって連携・協力した取組を推進します。

3 事業概要

○東部まちづくりプラットフォームの構築

東部振興構想の実現に向けて、地域に関わる様々な主体がつながる場となる「プラットフォーム」の構築を進めます。

【プラットフォーム登録数】 73名(令和5年1月末現在)

○東部地域トライアル活動支援補助金

住民等によるまちづくりの取組促進を図るため、トライアル活動に対する支援を行います。

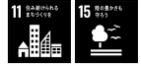
【令和4年度トライアル活動】

- ◆こどもが職業体験できる
「こどもマルシェ」の開催
- ◆桃を使ったレシピ開発
(桃スープ)
- ◆ドローンを活用した魅力
発信動画の製作 など



ドローンの映像(桃花台)

(仮称)小牧山東公園整備事業



都市政策部 みどり公園課

1 事業年度 令和4年度～

2 予算額 14,093千円

3 目的 旧図書館跡地については、「小牧市中心市街地グランドデザイン」において民間活力を導入した公園整備の検討及び推進を図ることとされていることから、(仮称)小牧山東公園として官民連携による整備を進めます。

4 事業概要 令和5年度は、条例の制定など必要な手続きを進めるとともに、令和4年度の検討結果を踏まえ、民間事業者の募集に向けた指針及び要項を策定し、公募・選定を行っていきます。

